

(仮称) 小平市第二次下水道プラン（素案）に対するパブリックコメントの実施結果

1 実施の概要

期 間	令和2年11月16日（月）～令和2年12月15日（火）	
意見応募者数	1人 （市内在住1人） （50歳代1人）	
提出の方法	持参	—
	送付	—
	ファクシミリ	—
	メール	—
	市ホームページ	1人

2 意見に対する対応状況

反映済み	1件
反映する	0件
反映しない	0件
参考意見	2件
その他	0件
合計	3件

3 意見への対応

番号	ご意見	検討結果	対応
1	<p>初めて「下水道プラン」を読みました。こんなに丁寧に分かりやすく書かれているのに、たぶんほとんどの市民の目にとまることがないのではないのでしょうか？とても残念に思います。</p> <p>生活に欠かせない下水道なのだから、確実に予算を確保できるようにもっと市民にアピールする場を設けた方がよいのではないのでしょうか（市民の目につくところへの掲示等。小平駅前に掲示板がありますが、どのくらいの市民が見ているのか）</p>	<p>本計画の周知を含め、下水道事業等の「見せる化」により、下水道が果たす役割や効果、将来の経営の見通しについて市民等の理解を得ることが重要と考えています。今後も、小平市ふれあい下水道館での各種イベントや下水道施設を活用した下水道事業の見せる化の取組の他、市報、ホームページ、SNS等を活用した周知・普及啓発の充実に努めます。</p> <p>また、下水道事業の経営状況については、公営企業会計の経営指標を用いた、経営比較分析表の公表により、市民にわかりやすく説明していきます。</p>	<p>反映済み (P. 64～65) (P. 66～68)</p>
2	<p>最近のゲリラ豪雨や台風の被害から、やはり生活排水と雨水は別々に流された方が武蔵小杉のタワーマンションのトイレ事件を思うと良いと思います。</p>	<p>令和元年台風19号で発生した武蔵小杉のタワーマンションにおける浸水被害は、下水道管への河川の逆流が要因の一つと言われています。本市は、河川流域の上流域に位置しているため、この現象による浸水被害の発生は低いものと考えます。本市の公共下水道は、流域関連下水道として整備されており、合流式下水道の分流化については、排水先の東京都流域下水道の見直しを含め、膨大な費用と期間が必要となります。</p>	<p>参考意見</p>
3	<p>今回下水道プランを読んで、水害の不安は感じられなかったのが良かったです。唯一の川が枯渇してしまったのは残念ですが。</p>	<p>市内の浸水被害については、合流区域、分流区域ともに、これまでの下水道整備をはじめとする対策により低減されてきております。しかしながら、近年の気候変動の影響と考えられる計画降雨（時間50mm）を超える局地的大雨等の発生により浸水の危険度が増しているため、引き続き浸水対策を進めてまいります。</p> <p>また、本市では、従来下水道整備における「雨水は速やかに排除する」という概念を見直し、貯留・浸透施設を設ける「雨水流出抑制型下水道」を基本としています。市内全域を対象に雨水流出抑制による治水対策を推進するとともに、浸透による地下水の涵養等、水循環の健全化に向けた取組を継続していきます。</p>	<p>参考意見</p>